

くまもと経済

C 表紙の人
Cover Story

中村 五木
天草市長
「イルカセンター」開業、天草観光の周遊拠点に

7 2019
月号
VOL.457

総力取材

熊本県・熊本市幹部人事 後編

特集

県内主要企業 2019年2・3・4月期決算と役員人事 後編

鶴屋百貨店がフィットネスジム開設 桜町再開発ビル内には業界大手進出

米国から高校生迎えワークショップを企画

崇城大学

崇城大学(熊本市西区池田4丁目、中山峰男学長)は6月17日、熊本市の姉妹都市サンアントニオ市(米国テキサス州)から高校生8人を迎え、同大学の外国人講師、外国人留学生らが企画したワークショップを開催。交流を深めた。

白根三井直子財団の高校生交流プログラムの一環として、同大学を訪れた高校生8人を対象に企画したもの。

会場は同大学G号館

2階のベンチャーラボ。

同大学機械工学科の留学生でテキサス州出身のブランドンさん他外国人講師らが「異文化交流」、「日本で起業する」といったテーマでワークショップを開催。白根三井直子財団は、国際交流による次世代育成を目指し、2017年から熊本市の姉妹都市サンアントニオ市をはじめテキサス州内の高校生を京都や熊本など日本に派遣する慈善事業を行っている。



▲ワークショップの講師を務めた同大学SILC講師のブランドン・カーマイヤーさん

▼高校生らを出迎える同大学の外国人講師と外国人留学生ら



▲テーマに沿って意見を出し合うワークショップ参加者